

大分市が歓喜と感動に沸いた

ラグビーワールドカップ2019™



- ①ニュージーランド代表が見せたハカ
- ②10/2 ニュージーランド v カナダ
- ③10/5 オーストラリア v ウルグアイ
- ④10/9 ウェールズ v フィジー
- ⑤10/19 イングランド v オーストラリア
- ⑥10/20 ウェールズ v フランス

TM © Rugby World Cup Limited 2015. All rights reserved.

ラグビーワールドカップ・東京オリンピック・パラリンピック推進局
☎574・6530

大分開催

その日の大分スポーツ公園総合競技場は、いつもと様子が異なっていた。スタンドは4万人近い観客で埋め尽くされ、日常では感じることもない空気が漂う。多くの外国人が集い、熱気に満ちたスタジアム。プレーが始まる前から巻き起こる歓声。あちらこちらから聞こえてくる国歌や応援歌の合唱。ドームを2周3周と駆け抜けるウェーブ。そんな光景に気持ちは高ぶり、これから始まる「一生に一度」の体験に、胸が高鳴る。

世界中が注目し、熱狂するラグビーワールドカップが大分で開催された。トライの瞬間はもちろん、スクラムやタックル、パスなど、一つのプレーでドームが揺れるほどの歓声が沸き起こり、目の前で繰り広げられる熱戦に、全ての観客が震えるほどの興奮を味わった。

中心市街地にある「祝祭の広場」では、パブリックビューイングが行われ、連日多くの人で賑わった。大分スポーツ公園総合競技場での試合観戦を終えた海外のサポーターが市民と交流し、ラグビーを通じた絆が生まれる。共に立ち上がり、歓喜の声を上げ、感動を分かち合った。世界各国から多くの人が大分に集まり、大分が世界とつながったラグビーワールドカップ。日本代表の目覚ましい活躍も盛り上がり後押しし、その熱狂の渦に巻き込まれた人も多はずだ。歓喜と感動に沸いた大分市の「一生に一度」の体験を振り返る。

数字で見る! 大分市の賑わい

- 市主催・共催イベント来場者数は延べ130万人を超えた。
- 祝祭の広場 パブリックビューイング・イベント他 延べ35万2,700人
- 大分市市民ボランティアによる対応人数 延べ2万1,598人
- 祝祭の広場 ビール消費量 1万1,000リットル (1杯500ml換算で2万2,000杯)